

まほろば秦野通信

令和2年1月21日

タイトル	八重桜のジョイント栽培は全国初の取り組み 市内柳川で食用八重桜の植樹祭を開催
When (いつ)	1月26日(日) 午前9時40分～ ※荒天の場合は2月1日(土)に順延
Where (どこで)	和田ローズガーデン(柳川583)に集合後、徒歩5分の植樹祭会場に移動
Who (だれが)	任意団体フィールド・フォー・シチズン 代表 小池 勉氏
What (なにを)	市内から参加者を募り、主催団体の案内で食用八重桜40本の苗を植樹します。 参加希望者は、名前・住所・電話番号を記載したメールを次のアドレスに送信してください。
How (どのように)	任意団体フィールド・フォー・シチズン 代表 小池 勉氏 tkoike210655@gmail.com (電話090(9036)4129) 先着20名、手袋を持参
Why (なぜ)	高齢化や後継者不足という背景に加え、落下時の危険性から摘み取り方法の習得が困難であるため、八重桜の摘み手が減少する中、将来的には、全国初の樹高を低く抑える八重桜のジョイント栽培を実践することで、幅広い層に八重桜の植樹から収穫を楽しんでもらい、八重桜の伝統を守ることを目的とします。
過去の実績	主催団体は、平成28年から、市民を集めて米およびサツマイモを栽培することで遊休農地の解消をしています。
今後の取り組み	植樹後は、水やりをし、来年の4月頃に接木を実施、その後は接木の養生が続きます。 3年後に開花、4年後に摘み取りを予定しています。
問い合わせ	農業振興課農業支援・鳥獣対策担当 担当：鈴木 電話0463(81)7800

報道機関各位

2020年1月14日

秦野市柳川で食用八重桜の植樹祭を開催

ジョイント栽培が、江戸から続く伝統を守ります



任意団体、フィールド・フォー・シチズンは1/26日（日）に秦野市柳川で八重桜の植樹祭を開催します。

我々はこれまで遊休農地の解消に取り組んできました。水田での稲作が主な活動でしたが、傾斜のある畑での活動にも取り組んでいます。秦野市は全国有数の食用桜花の産地です。しかし、摘み手の高齢化や後継者不足により、江戸時代から続く桜の文化が途絶えようとしています。10m以上の桜にはしごを枝に結び、両手で丁寧に摘み取るのは、

スキルを習得するのに大変時間がかかります。農業体験ボランティアが落下しけがをした場合の補償の問題も深刻です。神奈川県農業技術センターが開発したジョイント栽培は、直線的に一定間隔で植えた、苗木の先端と基部を接ぎ木により連続的につなげた樹木の仕立て方法です。樹木の育成期間を短縮化し、低樹高に仕立てることで収穫作業が容易になります。女性や子ども、お年寄りや農業体験ボランティアが安全に収穫を行うことができます。ジョイント栽培が江戸時代から続く食用八重桜の伝統を守ります。そして秦野市柳川を八重桜の里にしていきます。ジョイント栽培にご期待ください。

場所と日時は以下の通りです。

・場所 和田ローズガーデン 秦野市柳川 583

9時40分までにご集合ください。駐車スペースあります。

徒歩5分程度の植樹祭会場まで、スタッフがご案内させていただきます。

・日時 2020年1月26日 午前10時～12時

【お問い合わせ先】

任意団体 フィールド・フォー・シチズン

担当 小池 勉

秦野市渋沢 2-35-28 TEL 090-9036-4129

E-Mail:tkoike210655@gmail.com